

# 山梨県埋蔵文化財センター

YAMANASHI Pref  
ARCHAEOLOGICAL Cultural  
Properties Center

## 埋文やまなし

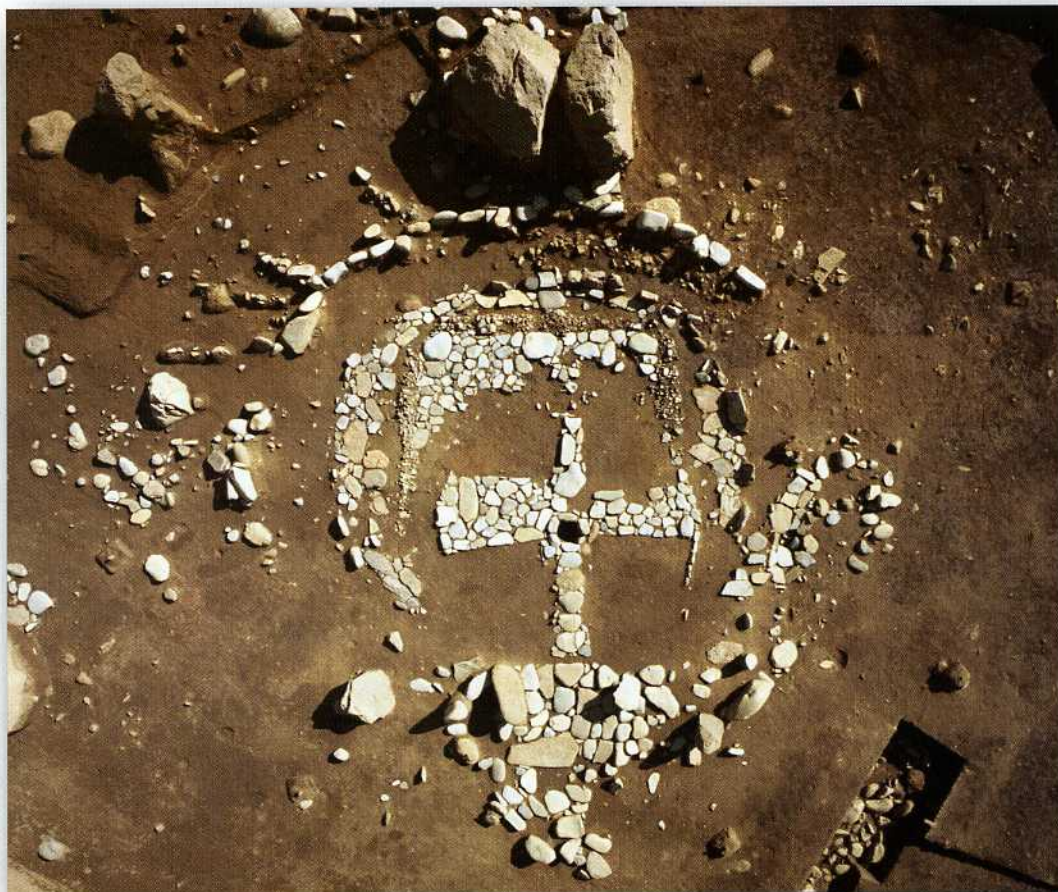


<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>

2010.8.31 第36号

## 特集 古代山梨の住居跡を探る

今回の埋文やまなしでは、古代山梨の人びとの生活拠点であった住居跡にせまります。平成24年度に設立30周年を迎える山梨県埋蔵文化財センターが、これまで県内で発掘調査した縄文～平安時代の住居跡の中からその時代に特徴的なものを中心に上げます。また、住居跡の紹介とともに、山梨県埋蔵文化財センターホームページの、対応する「遺跡トピックス」の番号を掲載しておきましたので、あわせてご覧ください。



写真：塩瀬下原遺跡〔大月市梁川町〕の敷石住居跡 しおせしたつばら しきいし 平成10（1998）年に行われた第4次調査で発掘された縄文時代後期中頃（今から約3,500年前）の住居跡です。円形の住居部分に柄が付いた、鏡のような形に見える柄鏡形敷石住居跡えかがみがたであり、中央よりやや中央よりやや手前側の炉中心に十字形に石が敷き詰められています。住居部分の直径は約8ふたと規模が大きいうえ、敷石が十字型であることは山梨でも珍しいものです。≫遺跡トピックス… No.0013/0083/0227

## 縄文時代編

はらまのうぎょうこうこうまえ

# 原町農業高校前遺跡〔北杜市長坂町〕



埋壺炉のある部分

### 遺跡の概要

遺跡は八ヶ岳南麓の緩やかな斜面上に位置しており、北杜高校の整備事業にともなって発掘調査が行われました。平成13(2001)年の第2次調査では、縄文時代中期中頃～中期末(約4,500年前)の住居跡99軒が発見されるなど、縄文時代の大規模な集落の様子が明らかになりました。



遺跡上空より

### 特徴

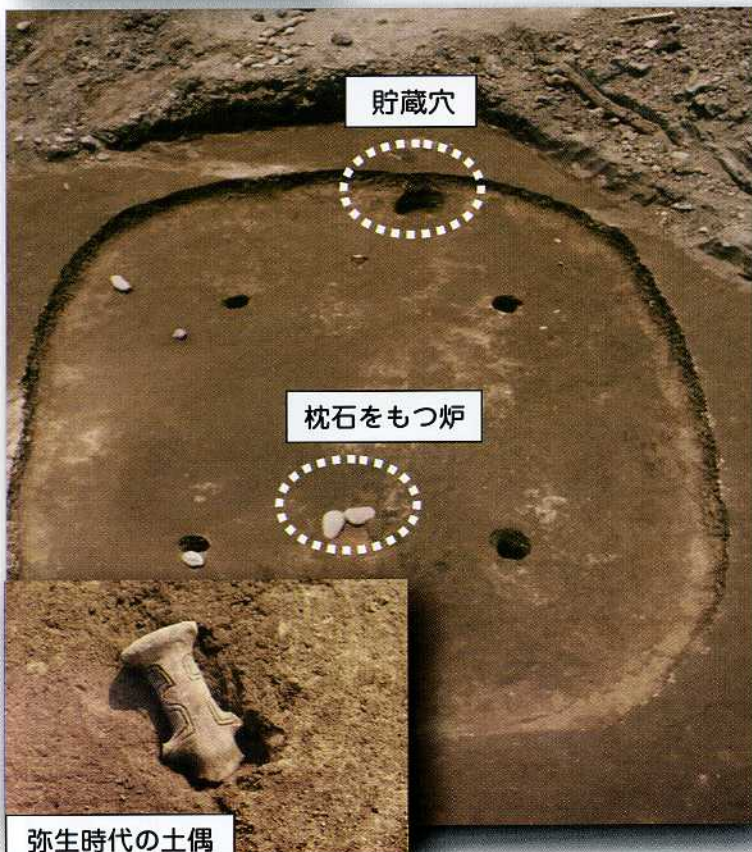
住居は楕円形で、短径6.6メートル、長径7.45メートルあります。周囲にはテラス状の遺構が確認され、その内側を溝がめぐり床面となっています。また、住居中央付近で埋壺炉が検出されました。埋壺炉は、地面を掘って土器を埋めた炉で、煮炊きのほか暖房や灯りをとるための施設だったと考えられています。

≫ 遺跡トピックス… No.0075/0076/0109/0115/0137

## 弥生時代編

かね お

# 金の尾遺跡〔甲斐市大下条〕



貯蔵穴

枕石をもつ炉

弥生時代の土偶

### 遺跡の概要

遺跡は荒川扇状地の中央部分(扇央)にあたり、中央自動車道の建設工事にともなって昭和54(1979)～55(1980)年に発掘調査が行われ、縄文時代の住居跡8軒のほか、特に弥生時代の住居跡32軒が確認され、甲府盆地の弥生時代遺跡を知る上で貴重な遺跡となっています。

### 特徴

住居は長径約6.6メートル、短径約4.8メートルで、形は隅が丸い四角形の隅丸方形をしています。写真手前の2つの柱穴の間に、枕石をもつ炉が、写真奥の壁際に貯蔵穴が見られます。この住居を含む周辺の集落跡は、中央のV字溝により2つに分かれ、その2つの集落の中間地点に方形・円形の周溝墓など墓域が形作られており、集落遺跡としても注目されます。また、この遺跡からは本県では初となる弥生時代の土偶が出土し、頭部が欠けているものの重要な資料となっています。

≫ 遺跡トピックス… No.0218/0228

古墳時代編

村前東A遺跡〔南アルプス市十五所・十日市場〕



弥生時代の水田跡

遺跡の概要

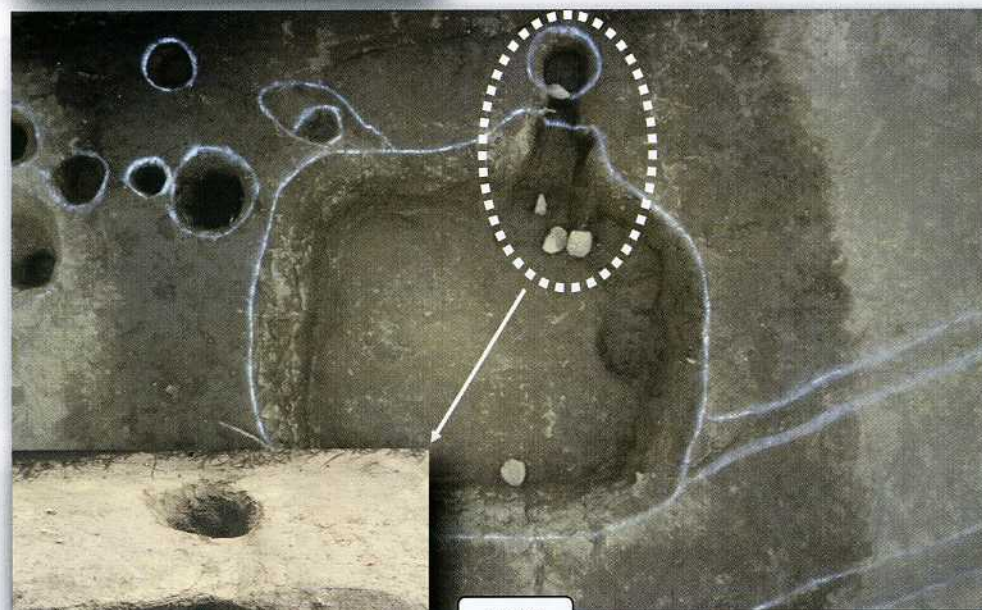
遺跡は御勅使川扇状地の扇端部にあたり、国道52号バイパスおよび中部横断自動車道の建設工事にともない、平成2(1990)~8(1996)年にかけて調査が行われ、141軒もの古墳時代前期(約1,600年前)の住居跡が発掘されました。

特徴

住居は隅丸方形や方形のものが多く、規模は多様です(写真の住居跡は約5<sup>坪</sup>四方)。出土した土器は尾張地域を中心とした東海地方西部を源とする土器の影響を強く受けており、本県の古墳時代の土器の成立を考える上で重要な資料となっています。また、遺跡内から弥生時代後期以前のものと考えられる小区画の水田跡もみついています。≫遺跡トピックス… No.0106

奈良・平安時代編

どうどう 百々遺跡〔南アルプス市百々〕



煙道をもつカマド

遺跡の概要

遺跡は御勅使川扇状地の中央部横断自動車道の建設にともない、平成11(1990)~12(2000)年にかけて発掘調査が行われました。御勅使川のたび重なる洪水で遺跡も流されたという予想をくつがえし、251軒もの平安時代の住居跡が確認されました。

特徴

およそ1100年前の5号住居跡(約6<sup>坪</sup>四方)には、カマドが設けられています。古墳時代までの住居には主に炉が据えられていたのに対し、新たにカマドが作られるようになりました。住居内に石と粘土で作ったカマドが据えられ、住居の外に煙を出すための煙道が設けられています。≫遺跡トピックス…No.0052/0065/0066/0101/0136/0172

# 山梨県埋蔵文化財センターからのお知らせ

山梨県埋蔵文化財センターでは、年間を通じて下記のような様々な事業を実施しています。各事業の詳しい内容や実施日時等については直接センターまでお気軽にお問い合わせください。当センターのホームページでは、過去の事業の様子を紹介しているほか、今後の事業についても「埋文やまなし」やホームページでも随時公開していきます。

事業	対象	時期
出前支援（土器作り、火起こし等）	小・中・高・その他教育機関	通年
考古資料の貸出	小・中・高・その他教育機関	通年
埋蔵文化財DVDの貸出	小・中・高・その他教育機関	通年
講師派遣	小・中・高・その他教育機関	通年
発掘体験セミナー	小・中・高校生・一般	年数回
遺跡見学会	どなたでも	年数回
遺跡調査発表会	どなたでも	年2回（10月・3月）
山梨の遺跡展	どなたでも	3月～4月
山梨の遺跡展巡回展	どなたでも	年3ヵ所程度
埋蔵文化財シンポジウム	どなたでも	年1回
職場体験	小・中・高校生	通年
山梨の考古学と埋蔵文化財活用研修会	教員・教育機関職員	年1回（8月）
広報誌「埋文やまなし」	どなたでも	年3回（8・12・3月）
ホームページ	どなたでも	毎週1回（水曜日）更新
埋蔵文化財相談窓口	どなたでも	通年



## 編集後記

厳しい暑さが続きますが、現在山梨県埋蔵文化財センターでは、県内各地で様々な遺跡の発掘調査を進めています。その成果については当センターの「ホームページ」をはじめ「遺跡見学会」や「遺跡調査発表会」、3月に開催される「山梨の遺跡展」等で紹介していきます。是非一度足を運んでいただき、古代山梨の人びとの暮らしに触れてみてはいかがでしょうか。

## 山梨県埋蔵文化財センター

## 埋文やまなし 第36号

発行日 2010年8月31日

編集 山梨県埋蔵文化財センター

発行 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923  
Tel・055-266-3016 Fax・055-266-3882

印刷 (株) 峽南堂印刷所